

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
郡山市	逢瀬町刎土原 (堀大)	平成29年8月30日	令和6年3月13日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	79.2 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	65.8 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	10.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	6 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	20.8 ha

2 対象地区の課題

現状、地域内の農地については、中心経営体による引き受け意向があるが、今後中心経営体の高齢化が見込まれるため、更なる農地の受け手の確保が必要となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

刎土原地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者12経営体及び既中心経営体等6経営体が担うほか、新たな農地の受け手を確保することにより対応していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む 範囲
計	18 経営体		41.8 ha		62.6 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

当地区の農業者は生産意欲があり、集落内に遊休農地はなく、優良農地として維持されているが、後継者のいない経営体が多数いるのも現実である。

一方で意欲ある後継者及び高収益性作物の栽培を目指す新規就農者もあり、地域の受け皿となりつつあるが、地域の高齢化は今後ますます進むため地域の中心となる経営体の在り方について協議を継続し、将来にわたり地域農業を維持できるような体制づくりを目指す。

地区内の農地所有者は原則として農地中間管理機構に貸付けることとする。また、中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進める。

また、施設や機械の導入の際には、補助事業等も活用する。